

秋

2004

みんなで創る

季刊発行 3・6・9・12各月15日発行

多 趣 多 才

Vol.44

カルチャーと趣味の情報誌



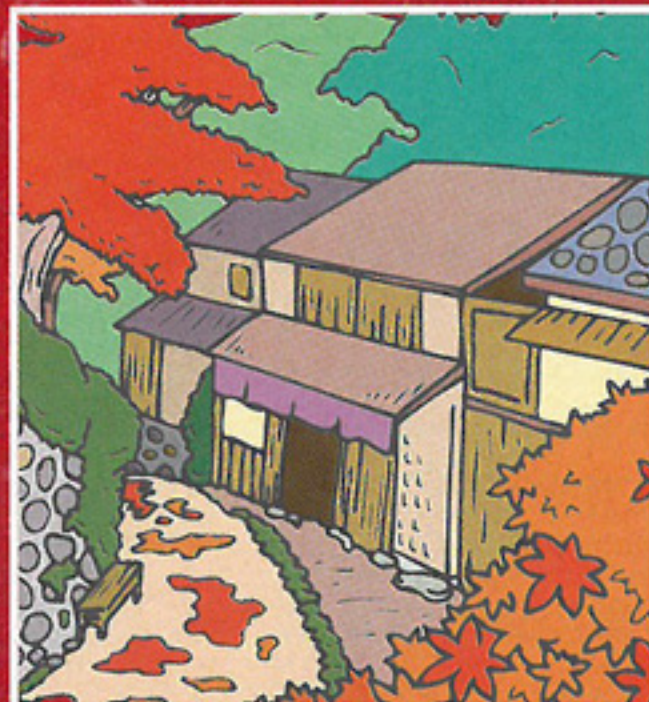
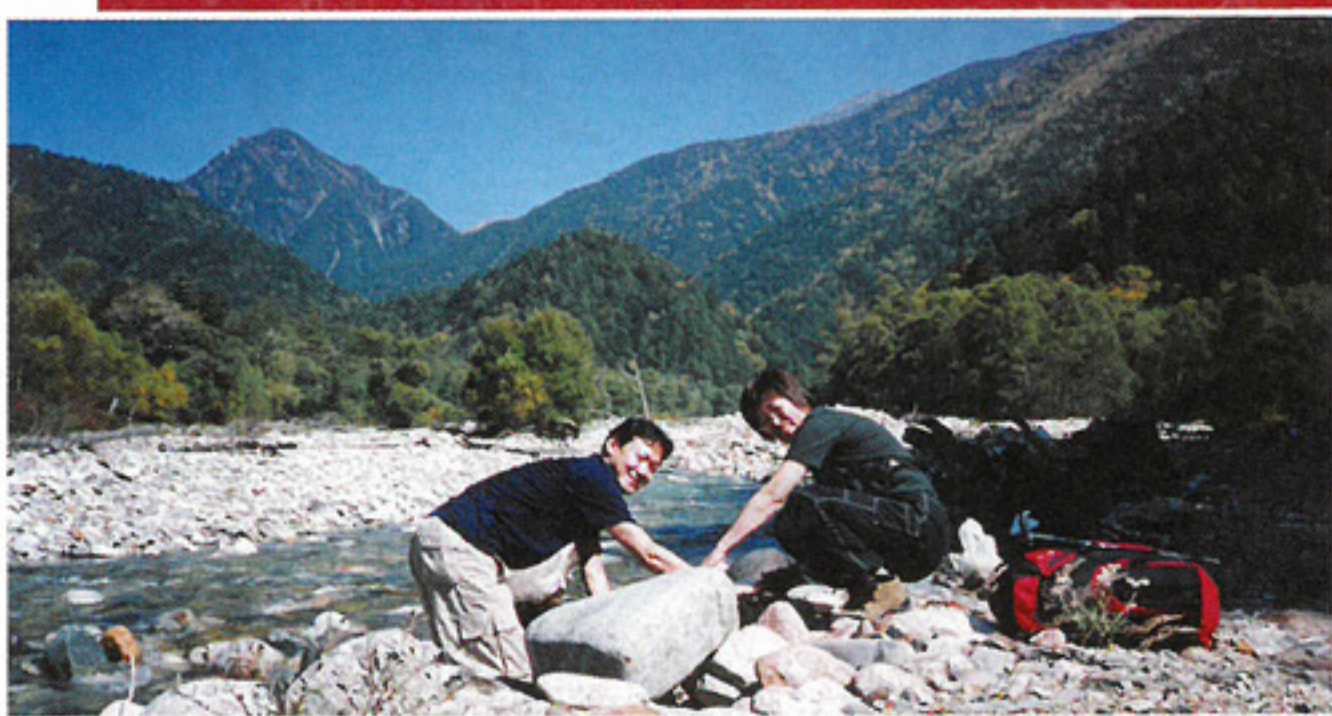
多趣多才は、歴史街道計画
を応援しています。

関西から

文化力

POWER OF CULTURE
多趣多才は、文化庁が提
唱する関西元気文化圏
の運動を応援しています。

特集 モノづくりの現場 オプス造形



店内閲覧用

年間購読好評受付中!

オプス造形

ものづくりにこだわる。

かつては私たち回りでも様々な音がよく聞かれ、しかし、最近でしようとしたものの中からだんだん消える。そんな中にある都心部にあってを彷彿とさせる工「オプス造形」が

が生活する身の「ものづくり」たもの。は職人たちが発つくりの音が町えてゆきつつあって大阪中央区「職人の世界」房がある。それだ。

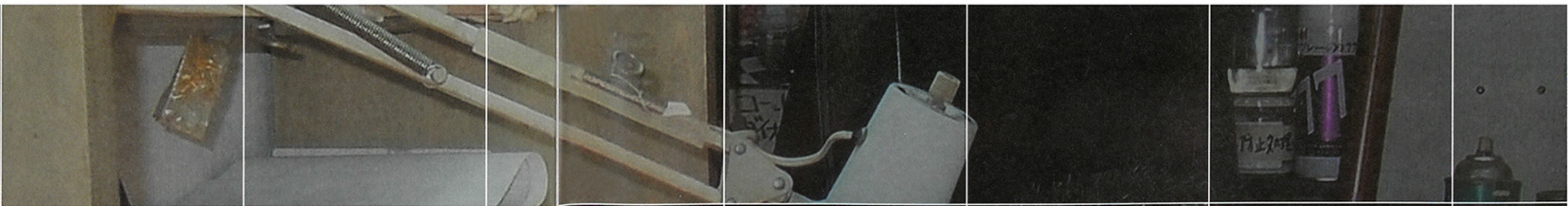
「オプス造形」の真髄は金属のアクセサリデザインにある。また、立地上の大きな特徴のひとつは、都心部にありながらショップ、アトリエ、ギャラリーを兼ねている点にある。だから、

口コミ、雑誌などで知った人たちが気軽に立ち寄ることができる。現実にショップとしてくる人もあれば、カルチャースクールでは自分の思いを実現できない人が「勉強したいので」と相談にくる人など様々だと代表者の榎本恵子さん。

榎本さんは平成2年、オリジナルブランドを創りたいと考え独立。そのキャリアは、アクセサリデザイナーとして苦闘した時代を合わせると、もうすぐ経歴30年を迎える。この間ずっと、ペーパーからデザインを起し、

金属と向かい合う毎日で、アクセサリデザイナー一筋の人だ。「小さい頃からものをつくるのが好きだった」という榎本さん。

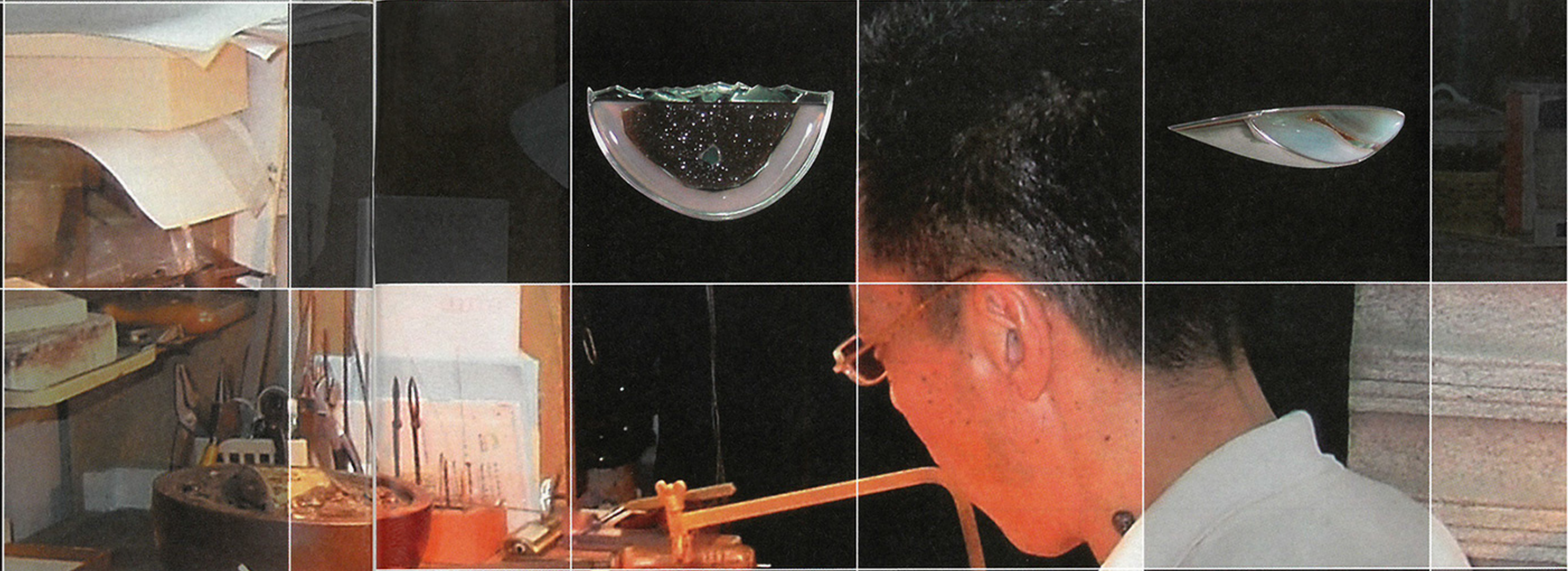
そして「金属でいかに美しいフォルムをつくるか。（このことを）今後とも、ものづくりの中で追求し、こだわっていきたい」と語る。造形という社名の由来もこのあたりにあるのだろう。



ブローチ
「溪谷」



スカルプチャーリング



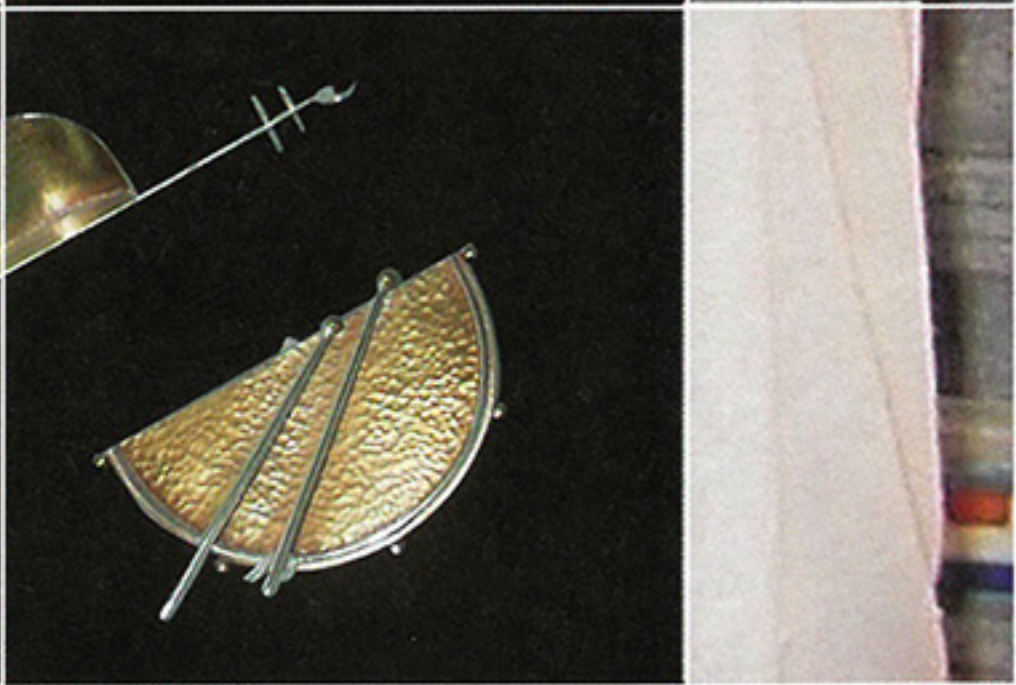
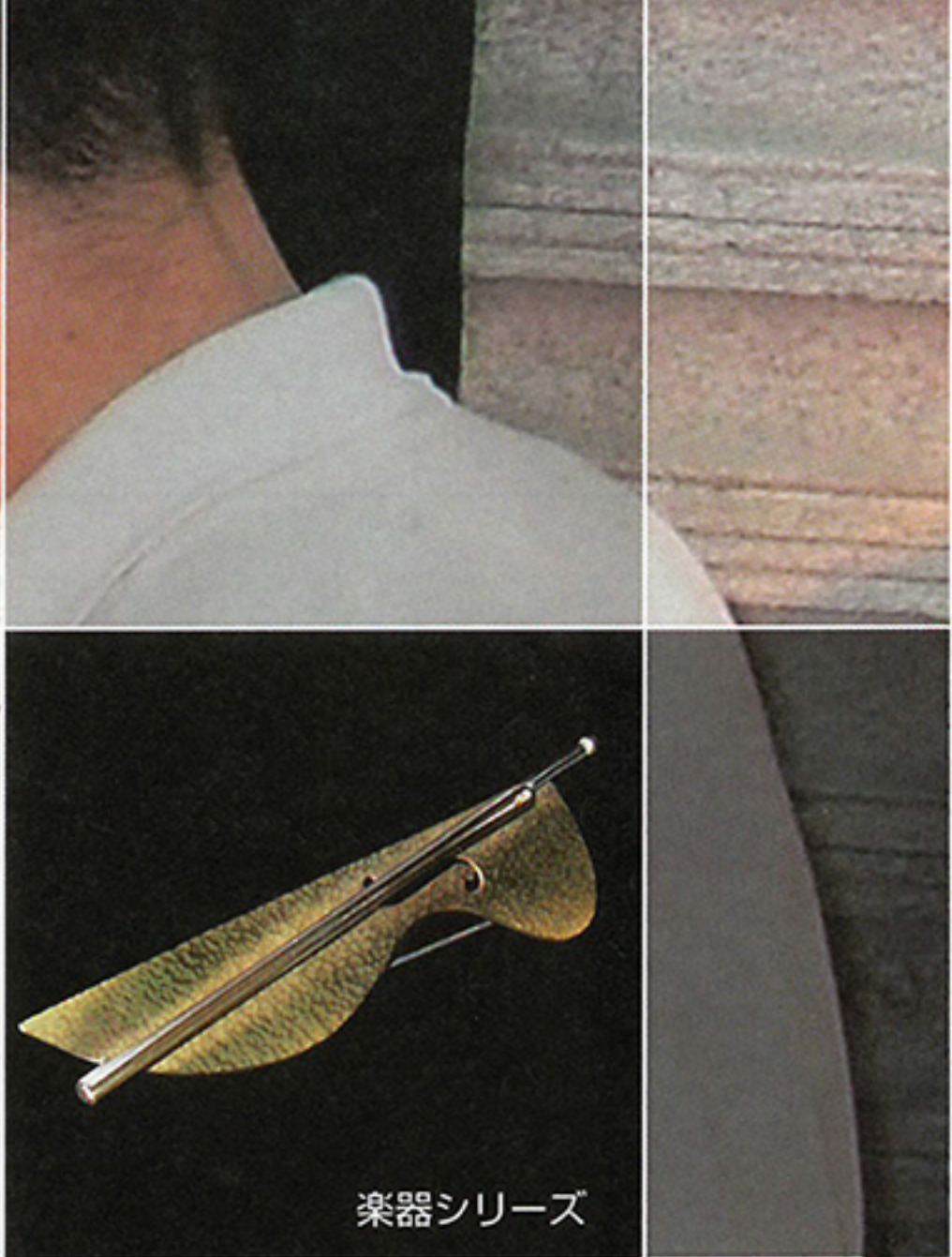
榎本さん(左)と毛谷さん(右)



ミニチュアコレクション



楽器シリーズ



風

